

① 看護学研究科 2026年度

② 入試区分

看護学研究科博士後期（Ⅰ期）

③ 出題科目

専門科目

④ 出題の意図

問1. わが国は、少子高齢社会が予測以上の速さで進行しており、社会的孤独・孤立がもたらす健康リスクが問題になっている。この健康リスクを減少させることは、現在かつ将来において重要課題の一つである。

問2. 地域の保健医療福祉に貢献できる高度な看護研究者・看護教育者・看護管理者および看護ケア提供者をめざすにあたり、研究・教育・実践の関連を理解しておくことは重要課題である。

これらの設問によって論理的思考力、分析力、創造性および表現力を総合的に評価し、博士後期課程での自律した研究遂行能力をみる。

令和 8 年度 看護学研究科博士後期課程（I 期）入学試験問題

科目名：専門科目（小論文）

受験 番号		氏 名		志望 分野	看護教育管理学
----------	--	--------	--	----------	---------

問 1

2024 年に自宅で死亡した一人暮らしの人数は 76,020 人で、うち 76.4% の 58,044 人が 65 歳以上であったことが、警察庁による初めての集計でわかりました（警視庁ホームページ、2025.12.1 アクセス）。

これは単身高齢世帯などが増加し、孤独・孤立問題が深刻化したことを示しています。

政府は社会的孤独・孤立を社会全体の課題と位置づけ、総合的な対策を推進する「孤独・孤立対策推進法^(注)」を 2024 年に施行し、地方自治体に対策協議会の設置などを求め、具体的取り組みは各自治体が任意で行うよう通知しました(内閣府 府弧準第 8 号、2024 年)。

高齢者が社会的孤独・孤立状態になる背景、社会的孤独・孤立による健康リスク、社会的孤独・孤立をどう防ぐかについて、具体例を出しながらあなたの考えを論じなさい。

（注）本法では、「孤独及び孤立の状態」を「日常生活若しくは社会生活において孤独を覚えることにより、又は社会から孤立していることにより心身に有害な影響を受けている状態」と定義している。

問 2

地域の保健医療福祉に貢献できる高度な看護研究者・看護教育者・看護管理者および看護ケア提供者をめざしているあなたは、研究・教育・実践の関連をどのように考えるかについて、論じなさい。

令和 8 年度 徳島文理大学大学院看護学研究科 博士後期課程（Ⅰ期）解答

専門科目 看護教育管理学

問 1.

解答例

広く日本の社会状況を理解・把握した上で、心と身体健康リスクを減らし、社会的孤独・孤立をどう予防するかについて、社会全体でサポートする必要性を具体例を交えながら創造的にかつ論理的に述べているかを評価する。

問 2

解答例

研究と実践の関係、教育と実践の関係、教育と研究の関係を理解し、看護学における研究・教育・実践は相互に深く関連し、かつ循環する関係であることを記述しているかを評価する。